

## 平成28年度第1回富士見町総合教育会議 議事録

日 時 平成28年7月12日(火) 午前10時00分～午前11時20分  
場 所 役場2階 教育長応接室  
出席者 町長 小林一彦 教育長 脇坂隆夫  
教育委員 井出志保子 鈴木清 小池千穂子 伊藤成八  
子ども課長(平出裕一) 地域連携推進指導主事(伊藤恵子)  
総務学校教育係長(小池美咲) 記録者(飯田侑)

### 1. 開 会

〈平出子ども課長〉

これより第1回富士見町総合教育会議を始めます。進行を務めさせていただきます。

〈小林一彦町長〉

本日は集まっていただきありがとうございます。町の大きなテーマである子どもが暮らしやすい町をつくるため、議論していきましょう。

### 2. 協 議

(1) 信州型コミュニティスクール進捗状況

〈伊藤恵子地域連携推進指導主事〉

① 学習支援、活動支援、読書支援、安全支援、園児支援、環境づくり支援について  
中学では今年度から夕学を行っているが、生徒も「わからないところが質問しやすい」等の感想が出ており、充実した活動になっています。

② 地域の見守り活動について報告・説明

〈脇坂教育長〉

コーディネーターが地域の方々とつながり、状況を把握できている。見守りの活動も輪が広がってきており、様々なことを試行しながら着実に進みつつある。夕学も含め現段階で手応えを感じている。

〈小林町長〉

様々な活動を行っていることを確認した。今後どこを目標にするのか。富士見町の地域全体が関わり合い、活性化するような目標にしてほしい。また、中学の夕学では、なぜ子どもが100人も集まるようになったのか。一昨年度までの「無料塾」から改善した部分はあるのか。

〈脇坂教育長〉

今年度の夕学では、子どもたちのニーズに合わせて「グローアップタイム」と「フリータイム」に分け、グローアップタイムでは、地域のボランティアの方々がプリントを使い教え、フリータイムでは、子どもたちが自分のやりたい学習を行うという時間にした。そのため、中学生、ボランティア相手にとって充実感ややりがいがある時間となったと思われる。

(2) 学校施設改修について

〈子ども課長〉

学校の老朽化が進みつつある中で、建物の修繕等について議論が出ています。また、保育園も老朽化が進んでいる現状があります。

〈小林町長〉

学校と保育園の建物について耐久年数はどの程度あるのか。また、それを明らかにして修繕費等を考える。学校体制については、当面現状の体制でいくが、長期展望をしっかりと持つことが大事。

(3) 信州型山保育について

〈子ども課課長〉

野外保育園のぼっちが県の信州型山保育ということで認定を受けました。運営の安定性、園児人数のばらつきなどの要望がぼっちから出ています。県では補助金を創設するという方針があるため、町でもその補助金をぼっちにあてる予定です。

〈小林町長〉

ぼっちは県の補助金等を当て、町でも要望を受け入れ支援していく。

(4) 仮称「ゆめの森公園」進捗状況

〈子ども課課長〉

昨年度3月に概略ができ、それをプロポーザルとして専門業者による提案方式の業者選定に入る事務手続きまで進んでいます。来年度の予算に間に合わせるため、11月中に具体的な金額を出し、来年の6月から7月中には工事を始める予定です。

〈小林町長〉

公園を造る場所に川があるので埋立をして安全な公園にしてほしい。

〈脇坂教育長〉

子どもたちが自由に遊べるフリースペースを造る方針のため、公園が完成した後、管理人が必要ではと考えています。

〈小林町長〉

公園の安全面を考えると管理人を置く方向で検討してほしい。

午前11時20分終了

議事録は事実と相違ないので、ここに署名する。

平成28年 7月 12日

町 長

---

教育長

---

教育長職務代理

---

委員

---

委員

---

委員

---